

2025年3月7日

国立大学法人徳島大学長
河村保彦 殿

徳島大学教職員労働組合
中央執行委員長 山口裕之

各種提供資料に関するご質問

日頃より徳島大学の充実発展のためにご尽力されていることに敬意を表します。

さて、昨年12月26日付で送付いたしました「学長懇談を踏まえた追加質問」に対しまして、本年2月12日付でご回答をいただくとともに、蔵本地区駐車場に関する過去5年分の収支決算書、ならびに国立大学法人徳島大学入試手当支給細則（案）をお示しいただきました。まずは、各種資料をご提供いただきましたことに、お礼申し上げます。

当該資料を精査いたしました結果、幾つか確認したい点がございましたため、重ねてとなり恐縮ですがご質問いたしたく存じます。

まず、蔵本地区駐車場に関する収支決算書についてですが、収支決算書の附属明細書によれば、「駐車場整備積立預金」として毎年約2,000万円を積み立てているようです。どのような施設を整備する予定なのか、何年間積み立てる予定なのか、いくら積み立てる予定なのかといった点は、今後の駐車場整備のベネフィットとコストを考えるうえで重要だと思われまます。ご教示いただければ幸いです。

また、「印刷製本費」におおむね毎年250万円の費用がかかっているようですが、いささか額が大きいに思われまます。昨今の電子化の時代にあつて印刷製本費は圧縮できるのではないかと思われまます。やはり紙の冊子が必要な場合もあるかもしれません。つきましては、具体的にどういった冊子を何部ほど印刷製本しているのか、ご教示ください。

事務費の額が200万円から400万円と変動が大きいに思われまます。なぜこのように大きく変動するのでしょうか。また、令和5年度の事務費は400万円と額が大きいのに加えて、端数のない丸い数字になっていますが、これはどうしてなのでしょう。

「雑費」が例年1,000万円超となっております。「雑費」としてまとめるにはいささか額が大きいに思われまます。具体的にどのようなことに使っているのか、ご教示ください。

次に、入試手当支給細則（案）についてですが、現状では各種入試業務の種類や内容による差異は設けず、「超過勤務手当」として支払われておりますが、ご提示いただいた案では、たとえば「試験問題作成責任者」の「筆記（数学）」は38ポイント、同「小論文等（志望調書）」は6ポイントなど、大きな差が付けられております。もちろん、具体的な業務の内容や所要時間に差があることは承知しておりますが、ポイントの差が大きいに思われまます。つきましては、各業務のポイント数を設定した根拠（所要時間や業務の内容をどのような根拠で金額に換算したのか）、ご教示いただきたいと思います。

また、入試手当については、一部の教職員では、支給額が現状よりも低くなる不利益変更となる恐れが

あるかと存じます。杞憂であればよいのですが、念のため、不利益変更となりうる事例の有無と、もしありうるならその人数につきご教示いただければと存じます。

最後に、現状では役職手当をもらっている者（学部長や学科長等）には超過勤務手当は付けられていませんが、入試手当は付与されるのか、年俸制の者にも入試手当は付与されるのかという点について、念のため確認したいと思います。

ご多忙中のところお手数をお掛けいたしますが、下記の諸点について概ね 1 カ月程度でご回答いただければ幸いです。ご対応のほど何卒宜しくお願いいたします。

記

1) 蔵本地区駐車場に関する収支決算書について

- ・「駐車場整備積立預金」によって整備する予定の施設。積み立てる予定の期間。積み立ての目標金額。
- ・「印刷製本費」により製作している冊子と部数。印刷物の電子化が不可能な理由。
- ・事務費の変動が大きい理由。令和 5 年度の事務費が 400 万円に増えた理由と、端数のない数字になっている理由。
- ・「雑費」の内訳。

2) 入試手当支給細則（案）について

- ・各業務のポイント数を設定した根拠（所要時間や業務内容をどのような根拠で金額に換算したのか）。
- ・入試手当の新設によって不利益変更となる事例の有無。有る場合にはその人数。
- ・役職手当をもらっている者と年俸制の者に対しても入試手当は支給されるのか。

以上